

基本目標・重要業績評価指標（KPI）の現状値一覧（令和6年度）

I 圏域全体の経済成長のけん引

| 基本目標 | 指標 | 基準値(R2) | 現状値(R6) | 目標値(R8) |
|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------------|
| | 圏域内総生産額 | 4兆7,026億円 (H30) | 4兆6,136億円 (R4) | 年平均成長率1.39%以上 5兆2,517億円 |
| 圏域内観光入込客数 | 19,043千人 (R1・暦年) | 16,774千人 (R5・暦年) | 23,000千人 (R8・暦年) | |

評価の基準

- ◎: 現状値が目標値を達成している
- : 目標値に達していないものの、基準値に対し、上昇している
- △: 目標値に達していないものの、基準値に対し、横ばいである
(変動率±0.5%の範囲内)
- ×: 目標値に達しておらず、基準値に対し、低下している
- : 事業の実施前等により評価不能

| 事務事業名 | 重要業績評価指標(KPI) | 基準値(R2) | 現状値(R6) | 目標値(R8) | 基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする | |
|---------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|---------------------|--|---|
| | | | | | | 状況認識・要因分析等 |
| ①スタートアップ企業支援 | 拠点で開催されるイベント参加者数 | 1,800人 | 4,114人 | 2,000人 | ◎ | 連携イベント等含めたイベント回数も十分確保できたことに加えて、1回あたりの集客も堅調に推移している。引き続き、関係市町とも連携し、広報周知の取り組みを進めていく。 |
| ②中小企業の経営健全化・人材確保等支援 | 合同企業説明会への参加企業数 | 43社/年 (R1~R2) | 52社 | 50社 | ◎ | 概ね予定どおり連携市町からの企業参加が得られ目標値を達成した。 |
| | 研修参加者人数 | 22人/回 (R1) | 57人/回 | 30人/回 | ◎ | 事業承継における譲渡側だけではなく譲受側も想定した内容としたことで幅広い参加者層を取り込むことができた。一方で、オンライン参加も可能であったものの参加者は岡山市からの参加がほとんどであったため、連携中枢都市圏事業として連携市からの参加を促進する工夫(広報等)が必要と感じた。 |
| ③新規需要創出・喚起促進 | PRセミナー参加者数 | 476人(累計) (H29~R2) | 240人(累計) (R4~R6) | 500人(累計) (R4~R8) | × | 構造見学会の現場やセミナーの会場の都合により、より多くの参加者を募ることができなかったため、会場設定を含めて改善を図る。 |
| ④特産農産物PR | PRイベントへの延べ参加生産者数 | 13者 (R3) | 22者 | 18者 | ◎ | 既に目標値を達成できており、特産農産物のPRに繋がっている。 |
| ⑤食品製造業見本市共同出展 | 見本市会期中の出展1社あたり平均商談件数 | 90件/年 (H30~R1) | 99件 | 100件 | ○ | 首都圏展示会への出展に向けて、出展企業に対しては事前のセミナーと個別相談を実施。支援効果は各社まちまちながら、当日の来場者数(3万1千人/昨年比15%増)も相まってブース全体の商談件数は増加。R4~R6を通して、出展経験に乏しい事業者へのノウハウ面でのサポートの有効性を再確認したものの、支援効果を出す上で2カ月という準備期間は短く感じた。来年度は、展示会出展時期の見直しを含めてより効果的な支援を考えていきたい。 |
| ⑥圏域内周遊に向けた観光資源発信 | 圏域内観光入込客数 | 19,043千人 (R1・暦年) | 16,774千人 (令和5年・暦年) | 23,000千人 (R8・暦年) | × | コロナ禍前の水準に達することはできなかったが、一部観光施設等では令和元年を上回る観光入込客数を記録しており、回復傾向が継続している。 |
| ⑦岡山型ムスリムツーリズムの推進 | ムスリム観光客宿泊者数 | 1,812人 (R1) | 1,918人 | 4,059人 (R7) | ○ | 目標値の半数にも及ばない数値ではあるが、基準値まで回復することができた。 |
| | 公式SNSのフォロワー数 | 12,000人 (R3) | 32,294人 | 24,000人 (R7) | ◎ | 岡山地域の認知度向上のため、メディアやインフルエンサーを起用しての情報発信や、現地旅行博でのフォローキャンペーンにより、多くのフォロワーを獲得することができた。 |
| ⑧アートイベントの連携による情報発信 | 情報発信回数 | 5回 (R1) | 5回 | 5回 | ◎ | 森の芸術祭の開催や瀬戸内国際芸術祭の開催に向けた機運醸成のためのPRの機会に合わせ、相互に情報発信の協力を行えた。 |

II 高次の都市機能の集積・強化

| 基本目標 | 指標 | 基準値(R2) | 現状値(R6) | 目標値(R8) |
|------|------------|------------------|----------|----------|
| | JR岡山駅の乗降人数 | 13.9万人/日 (R1) | 13.6万人/日 | 14.4万人/日 |

| 事務事業名 | 重要業績評価指標(KPI) | 基準値(R2) | 現状値(R6) | 目標値(R8) | 基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする | |
|---------------------------|---------------|-------------------------------------|----------|---|--|--|
| | | | | | | 状況認識・要因分析等 |
| ⑨市街地再開発事業の促進 | 歩行者通行量(旧銀ビル前) | 1,143人/日(休日) 658人/日(平日) (H30) | — | 3,600人/日(休日) 2,100人/日(平日) (R6.3月) | — | — |
| ⑩JRの利用促進と駅機能強化 | JR岡山駅乗降客数 | 13.9万人/日 (R1) | 13.6万人/日 | 14.4万人/日 | × | コロナ禍を経て、基準値(コロナ禍前)の98%にまで回復しており、各市町の施策実施も踏まえると、今後のさらなる利用増が期待される。 |
| ⑪岡山市と連携市町を結ぶ基幹道路ネットワークの整備 | 要望活動の実績回数 | 10回 (R3) | 11回 | 10回以上 | ◎ | 適切な時期に要望を行った結果、目標値を達成することができた。 |

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

| 基本目標 | 指標 | 基準値(R2) | 現状値(R6) | 目標値(R8) |
|------|--------------|-------------|---------|---------|
| | 圏域内市町の転入超過者数 | 57人 (R1) | ▲298人 | 226人 |

| 事務事業名 | 重要業績評価指標(KPI) | 基準値(R2) | 現状値(R6) | 目標値(R8) | 基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする | |
|--------------------|----------------------------------|----------------------|-------------------|---------------------|--|--|
| | | | | | | 状況認識・要因分析等 |
| ⑫高齢者見守りネットワーク連携 | 身元不明者の発見率 | — | — | 100% | — | — |
| ⑬保育園等の広域入所 | 入所手続きに来る来庁回数が1回以内の相談者の割合 | 100% | 100% | 100% | ◎ | 昨年度と同様に、保護者へ確認する項目について、共通の様式を使用することにより、必要な事項の確認漏れを防ぎ、手続きの回数を減らしている。また、担当者会議で課題を洗い出し情報共有している。 |
| ⑭健康ポイント事業 | 事業参加者の平均歩数増加 (健康ポイント事業実施市町のみ) | — | 436歩/日 | 300歩/日 (R6~R8) | ◎ | 目標値を達成。 |
| ⑮学校教育に関する情報共有 | 担当者会議の回数 | 1回 | 2回 | 2回 | ◎ | 全2回ともオンラインで担当者会議を実施し、特色ある取組や授業研究会等の情報共有をし、有意義な協議ができた。 |
| ⑯交流学习 | 交流学习の実施回数 | 2回 | 2回 | 2回 | ◎ | 県北山間部と県南海沿いの異なる環境の学校間での交流は、子ども達がそれぞれの自然の特色に触れ、体験的な学習を共に行うことで絆を深め、環境保全に対する意識を向上させることができた。 |
| ⑰夜間中学設置の検討・準備・運営 | 開設準備 | — | — | 完了 (R6) | — | — |
| ⑱ESD実践 | ESD・SDGs研修会の参加者数 | 338人(累計) (H29~R2) | 404人(累計) | 450人(累計) (R4~R8) | ○ | 連携市町を含め3回の研修を実施し、年間目標の90人を大幅に超えることができた。 |
| ⑲岡山芸術創造劇場を活用した文化連携 | 方針の決定 | — | — | 方針の決定 (R6) | — | — |
| ⑳文学によるまちづくり推進事業 | 文学関係事業のPR回数 | — | 21回 | 7回 | ◎ | 文学情報誌「うったて」及び文学イベントのチラシ等を送付し、情報発信を行った。 |
| ㉑トップスポーツチームの支援 | 各チームのホームゲーム平均入場者数(4チーム計) | 5,800人 (R2) | 12,722人 | 13,300人 | ○ | ファジアーノ岡山と岡山リベッツが好成績であり、両チームの入場者数が前年を大きく上回ったため、基準値を上回ったものとする。 |
| ㉒有害鳥獣対策研究 | 担当者会議の回数 | 2回/年 (H29~R2) | 2回 | 2回以上 | ◎ | 各市町の現状・課題を共有して対策を考え、解決方法を検討する。解決が難しい課題について内容を共有し、今後の事業展開に活かす。 |
| ㉓森林機能の維持増進に関する研究 | 担当者会議の回数 | — | 1回 | 1回以上 | ◎ | 目標値の開催を行っており、関係市町及び関係者の情報共有が出来た。 |
| ㉔学生等による地域課題への取組 | 連携市町の課題に取り組むグループ数 | — | 6組(累計) (R4~R6) | 5組(累計) (R4~R8) | ◎ | 連携市町の課題を紹介し、参加学生の活動内容とマッチングすることができ、毎年1組は連携市町の課題解決に取り組む目標を達成できた。 |
| ㉕男女共同参画推進事業 | 方針の決定 | — | — | 方針の決定 (R6) | — | — |

| 事務事業名 | 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値(R2) | 現状値(R6) | 目標値(R8) | 基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする | |
|-------------------|--|--------------------|---------------------|---------------------|--|--|
| | | | | | | 状況認識・要因分析等 |
| ②⑥風水害対応力の向上 | 施設整備 | — | — | 整備完了 (R6) | — | — |
| ②⑦ごみ焼却処理相互支援 | ごみ処理受入率 | 100% (H30) | 100% | 100% | ◎ | 要請があった案件には全て対応した。 |
| ②⑧広域ごみ処理施設整備 | 施設整備 | — | — | 完工 | — | — |
| ②⑨瀬戸内の海洋保全 | 清掃活動への参加者数 | 1,000人 (R3) | 4,327人 | 1,500人 | ◎ | 連携市町において、清掃活動及び啓発イベント実施数が増加した結果、目標値を上回る参加者となった。 |
| ③⑩気候変動対策 | 共同実施する事業件数 | 1件 (R3) | 5件 | 4件 | ◎ | 令和6年度は5件の共同事業を実施し、目標値を上回った。 |
| ③⑪水辺教室等環境教育の推進 | 連携して行う自然体験行事数 | 1回 | 9回 | 6回 | ◎ | 目標値を達成。 |
| ③⑫路線バス等生活交通の維持・確保 | 主要バス路線利用者数 | 24,612人/日 | 30,225人/日 | 26,079人/日 | ◎ | 基準値は越えており、またコロナ禍前(R1)の96%にまで回復しており、各市町の施策実施も踏まえると、今後のさらなる利用増が期待される。 |
| ③⑬移住促進連携 | 移住定住支援により圏域内に移住した人数 | 400人 (R2) | 566人 | 600人 | ○ | コロナ禍の収束により、リモートワークや地方移住への関心が昨年度と比べてやや低下したため、微減となった。 |
| ③⑭公共施設の相互利用の仕組み構築 | 住民一人あたりの図書館年間貸出冊数 | 6.1冊 (R1) | 4.5冊 | 6.2冊 | × | 多くの連携市町図書館自体の貸出冊数が減少傾向で、R4～R5年度のような利用の維持ができなかった。相互利用事業での貸出数もやや落ち込んでいる(前年度比約-5%)ため、本事業及び図書館事業のPRを進めていく必要がある。 |
| | 子どもパスポート掲載施設の利用者数(利用者数を把握していない2施設を除く。) | 1,195,144人 | 2,258,620人 | 2,000,000人 | ◎ | 新型コロナウイルス感染症の影響はほぼなくなり、流行前の数年間と比べても入場者数が多く、各施設における集客促進のための事業の影響が出ている。 |
| ③⑮包括連携協定に基づく公民連携 | 連携中枢都市圏を対象とする協定の締結・改訂数 | — | 2件(累計) (R4～R6) | 5件(累計) (R4～R8) | ○ | 1件新たに協定を締結した。 |
| ③⑯市民協働事業の推進 | 市民協働事業への参加者数 | 157人/年 (H29～R2) | 749人(累計) (R4～R6) | 800人(累計) (R4～R8) | ○ | 引き続き基準値を上回る数値(269人/年)となった。 |
| ③⑰デジタル人材の育成 | 圏域内市町村職員を対象とする研修実施回数 | — | 23回 | 72回(累計) (R6～R8) | ○ | 概ね目標通り進んでいる。研修参加にあたっては、より多くの市町の参加が得られやすいよう、案内を工夫する必要を感じる。 |
| ③⑱外部専門人材の活用 | 研修会等実施回数 | — | 21回(累計) (R4～R6) | 5回(累計) (R4～R8) | ◎ | 前年度に引き続き実施した脱炭素分野の勉強会において、事前照会した連携市町の課題に沿った項目建てとするなど、より実効性の高い取組を実施した。 |
| ③⑲人事交流・育成 | 圏域内市町村職員を対象とする研修実施回数 | 6回 | 7回 | 6回 | ◎ | 職員が現場で必要と感じている能力を習得するという観点で、研修内容の見直しを行い、参加者が昨年より増加し、目標以上の回数を実施できたものとする。 |
| ④⑩圏域データ等の活用 | 研修参加人数 | 55人 (R1) | 80人 | 60人 | ◎ | 研修会の開催にあたり、参加市町に改めて事業実施の趣旨と役割を伝え、募集したところ、参加人数が昨年より増加した。また、外部講師による研修も、参加市のデータを例に地域経済循環分析の解説があり、内容が理解しやすく好評であった。 |

| 事務事業名 | 重要業績評価指標(KPI) | 基準値(R2) | 現状値(R6) | 目標値(R8) | 基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする | |
|-----------------------------|------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--|---|
| | | | | | | 状況認識・要因分析等 |
| ④パートナーシップ宣誓制度の導入促進及び都市間相互利用 | 情報交換会の回数 | 3回 (R3) | 3回 | 3回 | ◎ | 数値目標を達成できており、相互利用協定の締結にかかる事務手続きの簡素化や協定締結の拡充を行うなど、事業の経過は良好である。 |
| ④行政サービス提供機能の最適化 | 研修参加者人数 | — | 81人(累計) (R4~R6) | 80人(累計) (R4~R8) | ◎ | オンライン形式で研修会を2回開催し、岡山市DX推進戦略マネージャーによる勉強会や参加市町の事例紹介を行った。内容に応じて複数名の出席等、積極的な参加を求めた。 |
| ④外国人コミュニケーション支援 | 外国人相談窓口における相談件数 | 3,249件 (R5暫定値) | 3,843件 | 4,434件 | ○ | 岡山市の外国人人口の伸び率が見込みを上回って推移しており、その結果、令和6年度の相談件数は基準値を上回った。 |
| ④公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築 | 「見える化」事業数 | 1事業 | 2事業 | 3事業 | ○ | スポーツ施設と文化施設を紹介するホームページを更新し、チラシを配布した。3事業目については、子ども系施設を紹介することの検討を進めることにした。 |
| | 瀬戸内市新火葬場(仮称)施設整備 | — | — | 施設稼働 (R7) | — | — |